

美濃太田駅周辺整備 将来基本構想

概要版



美濃加茂市

I 構想策定のねらい

1 目的

美濃太田駅周辺地区は、市の玄関口である美濃太田駅を中心として、中心市街地を形成しており、特に駅南地区は、古くからの商業の中心地として栄えていました。生活様式や社会構造の変化により、その中心であった商店街の賑わいは減少し、人口の流出などの影響も相まって空洞化が顕著になってきているため、市の中心市街地の活性化は、喫緊の課題であると考えています。

そのため、美濃太田駅周辺地区、特に駅南地区を活性化するためには、商業機能の向上、交通環境の整備、生活環境の整備及び防災機能の向上、さらに歴史的資源の保護活用などもあわせて総合的に実施する必要があります。この美濃太田駅周辺整備将来基本構想は、時代が変わってもその時々に応じた賑わいが、美濃太田駅南地区を中心として周辺地域と連携しながら続いていくことを目的として策定するものです。

対象エリア図



対象エリア 約 80ha

2 駅周辺のあゆみと将来像

現在



- 居住者の減少、店舗などの駅周辺からの流出などにより、中心市街地の拠点性が失われつつある。
- 訪れる目的となる飲食店舗や憩い空間、利便性を高める施設などとともに、安全、安心なまちづくりが求められている。

昭和

様々な種類の店舗が集積する広域地域の中心的な商業地としての最盛期を迎えていた。



大正

国鉄の3路線が乗り入れる接続駅として機能し、美濃太田駅が地域の公共交通の中心的な役割を果たしていた。



～明治

中山道五十一番目の宿場町として繁栄。市町村制が実施され、太田町となり、地域の政治、経済の中心地として発展。



将来

人が集い健康でウォーカブルな
にぎわいが続くまちづくりをめざす

II まちづくりのテーマ



健康的な美濃加茂市の顔となるまち

市の玄関口にふさわしい街のかたちや機能の再編などにより、賑わいやネットワークを創造し、市域全体及び対象区域内の暮らしに活力を与える健康的な美濃加茂市の顔となるまちの実現をめざします。

食

①食を通じた特徴的な取組みの展開

- ・美と健康を意識した地産地消の展開
- ・食を通じた多文化共生
- ・来訪者に向けた美濃加茂の食のPR
- ・食に関する知識の習得や健全な食生活を実現

歩

②拠点の強化と拠点間が有機的につながる回遊性の向上

- ・歩いて楽しめる太田宿の歴史資源の活用
- ・歩いて暮らせる健康的な中心市街地の形成
- ・回遊性を高める、人が滞在する空間配置
- ・歩いて巡るための施策の実施

住

③居住地としての魅力向上

- ・まちなかでの暮らしの魅力づくりのために駅周辺への都市機能誘導
- ・地域によるまちづくりの取組と人材育成
- ・日常サービス機能、子育て、高齢者向けサービス機能などの誘致
- ・様々な立場の人が健康的に暮らすための居場所づくり



III まちづくりの進め方

美濃加茂市の玄関口として、都市の活力（賑わい、回遊性など）を向上させる機能を備えたまちづくりの拠点となる「美濃太田駅賑わい核」を形成します。また太田宿周辺については、古くからの歴史資源を活かし、来訪者をもてなす観光拠点として「太田宿賑わい核」を形成します。

さらに二つの核を結ぶ「駅南通り賑わい軸」、太田宿の街道沿いに線的に広がる「太田宿賑わい軸」を形成し、軸から周辺ゾーンへと賑わいを広げていきます。

そして、市の玄関口である美濃太田駅周辺を活性化することで、市全体の活性化へとつながることを期待しています。

美濃太田駅賑わい核

美濃加茂市の玄関口として、「都市施設等の新たな整備や更新の実施」、「公共公益機能、駅周辺利用者向けサービス機能等の都市機能の再配置」や「健康の基本となる食を通じた多様な取組み展開」など賑わいを生み出す様々な機能と仕掛けを集中させ、広域的な特徴や要素を活用し、広域の中心としても「まちの顔」となる魅力づくりを推進します。

駅南通り賑わい軸

2つの賑わい核をつなぐ南北の軸として、店舗活用や魅力をもった賑わい要素の再生を進めます。また、東西方向の広がりを意識した機能の誘導を進めます。

太田宿賑わい核

新たな賑わい核、既存文化施設を含め「中山道太田宿」の街道沿いを東西の軸として、楽しく歩くことのできる賑わい要素や景観の保全を進めます。

太田宿賑わい軸

新たな賑わい核、既存文化施設を含め街道沿いの東西の軸として、中山道の「太田宿」の街道として、楽しく歩くことのできる賑わいや景観の整備を進めます。

賑わいの広がりゾーン

核や軸と連携しながら、背後に広がるゾーンにおいて、資源（趣のある路地・小さな広場・魅力的なスポット）をネットワークさせ、広がりを演出し、まちなかの隙間を利用したゆとりのある界隈「賑わいの広がりゾーン」を形成します。

賑わいの
広がりゾーン
(軸から周辺の
ゾーンへ広がる)

駅南通り賑わい軸
(核をつなげる)

賑わいの
広がりゾーン
(軸から周辺の
ゾーンへ広がる)

住宅ゾーン

最も身近な訪れる対象となる居住者のための環境づくりとして、住宅ゾーンの魅力向上、地域でのまちづくりの取組を進めます。

住宅ゾーン

住宅ゾーン

歴史拠点

太田宿賑わい核

太田宿賑わい軸
(核を中心に線的に広がる)



0 50 200m

<凡 例>

- 公園・広場
- 骨格道路

IV 賑わい再生に向けた施策（案）



『食』の魅力向上

特徴的な取組みによる賑わいの創出に向けて



施策方針

- 地元食材を活かした地産地消のネットワークの展開
- 食を通じた多文化共生
- 来訪者に向けた美濃加茂の食のPR
- 食に関する知識の習得や健全な食生活の実現



『歩』の魅力向上

歩いてみたいと思える環境づくりに向けて



施策方針

- 中山道太田宿建造物の保存と修景
- 市内回遊の交通手段の充実
- 観光モデルコースの設定
- 木曾川の自然を保全し活用した、遊びと学びのかわづくり
- 地域の歴史・文化を周知、啓発する取組・イベントの実施
- インバウンドを意識した観光資源の活用・PR

『住』の魅力向上

まちなかに暮らしたいと思える環境づくりに向けて



施策方針

- 安全・安心に暮らすことができる環境整備
- 駅周辺に訪れたいと思う都市機能の再配置
- 空き店舗などを地域の賑わいや交流拠点として活用
- 新たな商業の担い手の育成
- 女性が輝ける、夢が叶えられる環境づくり
- 地域資源を活用した、人と人、人と自然との交わりによる交流人口の増加

地域全体の魅力づくり

市の玄関口にふさわしい基盤整備に向けて



施策方針

- 駅南地区の既成市街地の再整備
- 美濃太田駅周辺の観光・交流機能の充実・強化、景観形成などおもてなしの空間形成
- 安全安心な歩行者環境や快適な公園などの空間整備
- 中山道太田宿の歴史、まちなみを次世代に継承する施設などの整備
- 道路ネットワークの整備による駅南地区への人の集中の誘導
- 交通結節機能の充実・強化

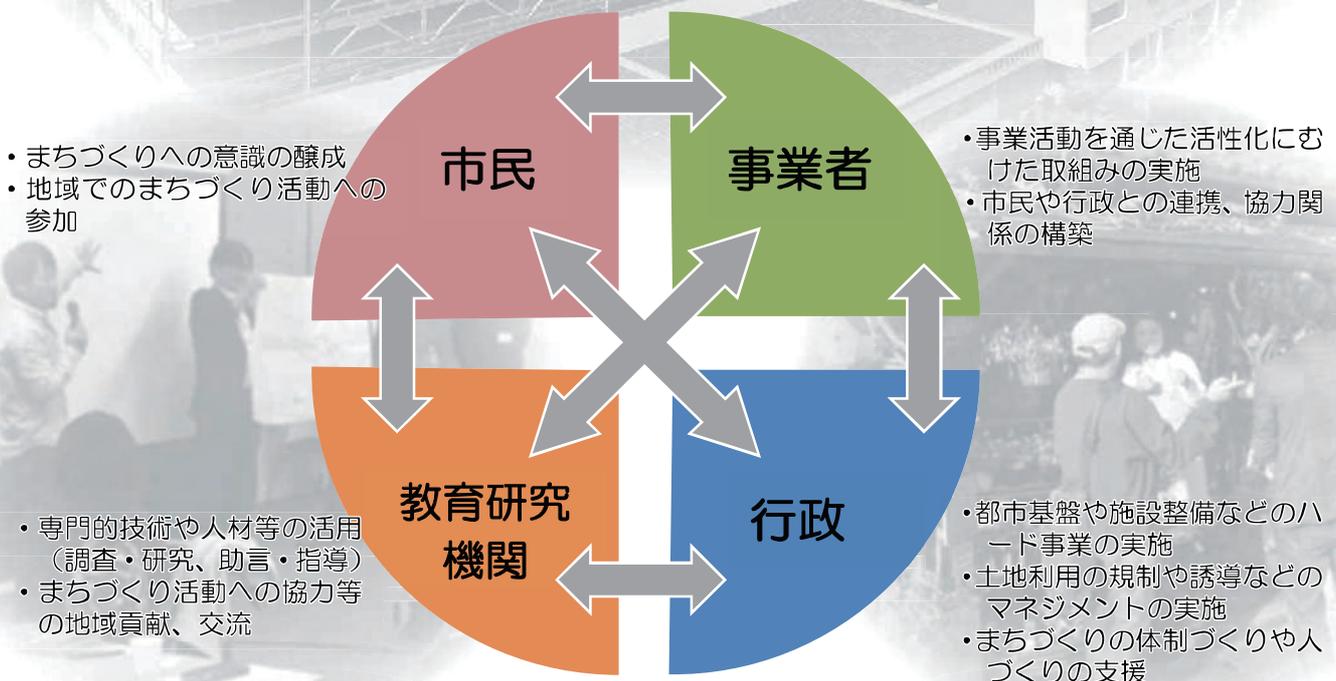


V 基本構想の推進に向けて

1 協働のまちづくりの推進

市民、事業者、教育・研究機関、行政など、それぞれの主体の役割を明らかにしたうえで、まちづくりの主体的な取組みと連携を促進します。

協働のまちづくり



2 まちづくりの体制づくり

美濃太田駅周辺には、様々なまちづくりの活動を行う多様な主体が存在しています。今後はそれらの地域に関わる方々とまちづくりの目的を共有し、合意や賛同を得ながら地域の総意としてまちづくりを進めていきます。

特に、駅南地区においての賑わいづくりを進めるにあたっては、持続可能なエリアマネジメント（まちづくり会社の設立など）を視野に入れ、既存の団体等が連携し、地区の将来と構想実現に向けてアイデアの募集や社会実験の取組みなどを積極的に行いながら、地域みんなで機運を高め、まちづくりの体制づくりを進めます。

